# 極域科学専攻履修モデル　博士課程（3年次編入学）

教育研究指導分野：極域気水圏分野

研究課題：極域大気海洋相互作用に関する研究

| 年次 | 総合教育科目 | 単位 | 研究科共通基礎科目 | 単位 | 概論科目群 | 単位 | 専門科目群 | 単位 | 研究指導科目群 | 単位 | フィールドワーク他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | フレッシュマンコース | 2 | 先端地球科学通論Ⅰ<br>先端地球科学通論Ⅱ<br>大気・水圏の科学概論<br>科学プレゼンテーション<br>科学ライティング | 2<br>2<br>2<br>2<br>2 | 極域海洋科学概論 | 2 | 極域気候システム論<br>極域大気・水・物質循環論 | 2<br>2 | 極域科学特別研究ⅢA・ⅢB<br>極域科学特別演習ⅢA・ⅢB | 4<br>4 | 南極や北極の観測活動に参加し、主体的な活動によりデータ取得、国内外の学会で研究発表・内外の研究者との交流 |
| | ＜到達目標＞博士論文の研究テーマ及び研究計画を決定する。フィールドワーク等により、博士論文テーマに沿って必要なデータ取得を行うとともに、データの解析を行う。2月開催の学生発表会で、これまでの研究成果及び今後の計画を発表し、指導教員のみならず専攻の教員集団全体のレビューを受ける。また、修士論文の内容を査読のある学術誌に論文を投稿する。 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | 極域科学特別研究ⅣA・ⅣB<br>極域科学特別演習ⅣA・ⅣB | 4<br>4 | 南極や北極の観測活動に参加し、主体的な活動によりデータ取得、国内外の学会で研究発表・内外の研究者との交流 |
| | ＜到達目標＞博士論文作成に必要なデータ取得を完了させ、データの解析を進める。さらに、博士論文の執筆に入る。また、博士論文に関係する内容で、査読ある学術誌に論文を投稿する。2月開催の学生発表会で、これまでの研究成果を発表し、指導教員のみならず専攻の教員集団全体のレビューを受ける。 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | 極域科学特別研究ⅤA・ⅤB<br>極域科学特別演習ⅤA・ⅤB | 4<br>4 | 国内外の学会で研究発表・内外の研究者との交流 |
| | ＜到達目標＞博士論文の執筆を進める。予備審査の段階までに、論文の完成度が博士論文の水準の80%までに至っていることを要する。予備審査後、本審査出願までの間に予備審査委員会による指摘事項をクリアーし、博士論文を完成させる。 | | | | | | | | | | |
| | 単位数 | 2 | | 10 | | 2 | | 4 | | 24 | |
| | | ① | | ② | | ③ | | ④ | | ⑤ | |

| 取得単位数 |
|---|
| 42 |
| 修了必要単位数 |
| 8 |

（ただし、必ず②を4単位含むこと。①は2単位を限度に修了必要単位数に認める。この他、他大学の単位互換制度による取得単位を一定範囲で修了必要単位数に含めることが出来る。）